

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		指定文化財等維持管理事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
				担当G	文化財管理G					活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりプラン (基本目標)		振興	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち		予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	申請件数	件	2	2	2	2		
(個別目標)		計画	3	文化を守り・育み・つなげるまち		主な費目	役務費、委託料、負担金補助及び交付金					イ	補助金交付件数	件	2	2	2	2		
(施策)		体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用		対象	歴史遺産					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(基本目標)		総合	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		事業期間	平成17年度～ 年度 (年間)					ア	直接維持管理を行う指定文化財数	件	26	26	30	31		
(施策)		戦略	5	観光パワーアッププロジェクト								イ	個人及び団体所有の指定文化財数/指定文化財	件	0.69	0.69	0.73	0.72		
(1) 総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)		4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (計画・予算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		(4) 評価					
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円											所管課による評価						
		その他特定財源	千円											<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 <p>・貴重な歴史遺産である文化財を保護することで、地域の宝である文化財を次世代に継承できる。</p> <p>・文化財指定により所有者のみのものではなく、地域の宝としての価値を持つことから、経済的支援が必要である。</p>						
		一般財源	千円	2,938	3,168	4,879	5,767	2,577												
		事業費計 (A)	千円	2,938	3,168	4,879	5,767	2,577	0											
		所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000												
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	0											
	(A) + (B)	千円	8,538	8,768	10,479	11,367	8,177	0												
(2) 事業概要																				
事業目的	貴重な歴史遺産を保護することで、地域の宝である文化財を次世代へ継承する。																			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史遺産を適正な状態で公開出来るように、年間を通じての点検及び維持作業、修復・修繕業務を実施する。 ・個人及び団体が所有する国・県・市の指定文化財等の修繕など、維持管理に係る経費の4分の3を市単独補助金として交付する。R6年度は県指定建造物「旧東郷医院」の県補助事業が計画されており、市の負担が生じる。 																			
開始経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の維持管理は、文化財保護法に基づき、昭和25年より開始した。 ・平成20年から指定文化財等保護事業補助金として、個人、団体所有の指定文化財の維持管理費用の負担軽減を図るため、本事業を創設した。 																			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・志布志城(内城)跡・志布志麓庭園・市内指定文化財等維持管理業務 ・鳥濱氏庭園・清水氏庭園維持管理補助金 ・宝満寺跡ほか指定文化財等の維持管理 																			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史遺産を適正な状態で公開出来るように、年間を通じての点検及び維持作業、修復・修繕業務を実施した。 ・個人及び団体が所有する国・県・市の指定文化財等の修繕など、維持管理に係る経費の4分の3を市単独の補助金として交付した。 																			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定の文化財については、適切に管理されているが、その他の文化財については十分とはいえない。 ・指定文化財の所有者からは、補助金の増額の要望がある。 																			
		改革改善案		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了																

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		山中氏邸保存活用整備事業		担当課	生涯学習課			(3) 指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度							
				担当G	文化財管理G			活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	山中氏邸企画展の開催回数	回	3 1	3 1	3 3	3 3						
(個別目標)	計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	修繕料、委託料、工事請負費					イ												
(施策)	体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	市指定建造物 山中氏邸					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)				
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成17年度～ 年度 (年間)					ア	山中氏邸来場者数	人	600 214	600 250	600 550	600						
(施策)	戦略	5	観光パワーアッププロジェクト							イ												
(1) 総事業費の推移		単位		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価		所管課による評価										
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 											
年間 事業費 ター コスト	財源内訳	千円															志布志東部地区の「歴史遺産を活用した魅力ある観光まちづくり計画」において企画展等による活用が示され、志布志駅と志布志麓との中間地点としての活用が期待される。					
	国県支出金	千円																				
	その他特定財源	千円																				
	一般財源	千円	5,224	1,725	497	388	388															
	事業費計 (A)	千円	5,224	1,725	497	388	388		0													
	所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000															
	人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600		0													
(A) + (B)	千円	10,824	7,325	6,097	5,988	5,988		0														
(2) 事業概要																						
事業目的	市指定建造物であり、市内に唯一現存する白壁漆喰の商家である山中氏邸の保存・活用を図る。																					
事業内容	志布志地区の旧市街の面影を伝える町屋地区の、歴史遺産である山中氏邸は、平成18年度に公有化され、平成19年度には、主屋の整備のための基本設計業務を実施し、修理・復元の基本方針を決定した。また、商家資料館活用検討委員会においては、4棟の建造物の活用策について検討を行い、平成25年度に活用計画を策定した。志布志駅と志布志麓をつなぐ中間の施設として活用を行っていく。																					
開始経緯	山中氏邸は市内で唯一現存する白壁漆喰の商家であり、大変貴重であるため、平成18年度に公有化した。																					
実施状況	山中氏邸で企画展を開催するための環境整備として、企画展に合わせた維持管理を実施した。お釈迦まつり、商店街イベント(七夕・節分)にあわせて企画展を実施している。																					
成果	山中氏邸において、3回の企画展及び公開を実施した。令和3年度にトイレ改修工事を実施し、主屋内のトイレが使用可能となった。令和4年度は大雨による災害復旧として軒先等の修繕を実施した。																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備・活用を目的に公有化を行ったが、整備に関して推進が図られていないことに批判が寄せられている。 老朽化が進み、文化財保存のための修繕等が必要となっている。 整備推進のための財源確保が最重要課題である。 																					
	改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了															

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		志布志麓庭園整備事業					担当課		生涯学習課		(3) 指標の推移											
							担当G		文化財管理G		活動指標 (実施状況)		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
							予算科目		会計 款 項 目 備考				(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち					予	1	10	4	6										
(個別目標)	3	文化を守り・育み・つなげるまち					主	需用費、報償費、旅費、委託料、工事請負費、備品購入費														
(施策)	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用					対	国指定名勝					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											適正な状態に整備された庭園数		箇所	1	1	1	2	2	2
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト					事	平成21年度～ 年度 (年間)														
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価													
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価													
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円	39,367	40,712	24,626	19,013	10,000	15,000	有効性 評価	志布志麓庭園管理基本計画を策定したことにより、国の補助事業の導入で保存修理等ができる。											
		その他特定財源	千円																			
		一般財源	千円	39,945	40,782	72,014	20,820	10,000	15,000													
		事業費計 (A)	千円	79,312	81,494	96,640	39,833	20,000	30,000													
		所要人員 (年間)	人	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000													
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600													
	(A) + (B)	千円	84,912	87,094	102,240	45,433	25,600	35,600														
(2) 事業概要																						
事業目的	国指定名勝志布志麓庭園(福山氏庭園・天水氏庭園・平山氏庭園)の保存・活用を図る。麓地区の武家屋敷、古民家等の再生を図り、観光まちづくりの資源とする。																					
事業内容	平成19年に国指定となった、志布志麓庭園の保存管理についての指針となる、保存管理計画を平成22年度に策定し、計画的に整備を進め、国指定名勝の活用・整備を図る。令和6年度は福山氏庭園の公開活用を開始するとともに、主屋以外の建物調査等を実施する。																					
開始経緯	地域住民や観光ガイドから早急の整備要望があり、文化庁からも建造物の老朽化が著しい福山氏庭園主屋の早急な保存修理が求められている。																					
実施状況	文化庁の指導を仰ぎながら、福山氏庭園主屋等保存修理等工事を実施し、志布志麓庭園整備検討委員会を開催する。福山氏庭園主屋は令和6年7月16日に開園式典を行い、一般公開を開始する。木下邸の保存活用に関する手法等を検討する。																					
成果	福山氏庭園主屋・庭門の保存修理を実施し、敷地内に新築便所を設置した。主庭園を旧来の姿に復旧するための修復剪定を実施し、アカマツ等の補植を行った。主屋等防災工事として、主屋の土壁補強による耐震対策工事等を行い、敷地内に私設消火栓(2基)を設置した。令和5年度で主屋の保存修理を完了し、令和6年度から主屋の公開活用を行う。																					
課題	国指定文化財の文化財保存修理の方法は、国の基準を満たす工法が必要であり、事業費は高額となる。国庫補助を活用しながら、年次的な保存修理等工事を、文化庁の指導を仰ぎながら実施する必要がある。																					
	改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了															

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		指定文化財活用事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移										
				担当G	文化財管理G				活動指標 (実施状況)		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
				予算科目	会計	款	項	目	備考	公開活用されている庭園数		件	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予	1	10	4	6		ア		5	5	5	5	5			
(個別目標)	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主	報償費、旅費、印刷製本費、委託料						イ									
(施策)	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対	文化財						成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事	平成18年度～ 年度 (年間)						ア		活用による庭園の親子人数 (一般観光客を除く)	人	400 537	500 156	500 352	1,000	1,000	1,000
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト								イ									
(1) 総事業費の推移				単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価		所管課による評価						
					(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価 ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性		公共の財産である歴史遺産を周知公開することにより、文化財保護意識が高まり貴重な歴史遺産の保護につながる。指定の促進により貴重な歴史遺産を保護し、公開・活用が可能となる。						
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円																
		その他特定財源	千円		6,452														
		一般財源	千円	225	1,247	319	1,297	1,297	1,297										
		事業費計 (A)	千円	225	7,699	319	1,297	1,297	1,297										
		所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000										
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600										
				(A) + (B)	千円	5,825	13,299	5,919	6,897	6,897	6,897	効率性評価 ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携		個人が所有する庭園に対して公開謝金を支出しており、公有化することで費用の削減が可能となり、市独自の活用も可能となる。					
(2) 事業概要																			
事業目的	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用を推進することによって、歴史遺産を保護するとともに活用する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を推進する。併せて国県市指定の促進を図る。																		
事業内容	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用策として、各庭園を所有者の協力によって公開し、公開の規模により、謝金を交付する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を行う。文化財の国県市指定の促進を図る。																		
開始経緯	貴重な歴史遺産である史跡・名勝・建造物等が、市民をはじめとした多くの人々に対して公開されることとなった。歴史遺産を公開活用することは、観光客の誘致等に効果がある。																		
実施状況	国指定・登録名勝の全面公開：平山氏庭園、鳥濱氏庭園、天水氏庭園 国指定・登録名勝の随時公開：福山氏庭園、清水氏庭園 国県市指定文化財の現地説明版設置																		
成果	志布志城跡を含めた、志布志麓を公開することで、観光入込客が増加している。令和4年度に国指定史跡志布志城跡の活用として、コロナ交付金を活用しCG動画を作成して公開した。																		
課題	文化財の活用を推進するにあたっては、適切な維持管理が必要である。公開している庭園の所有者が変わったため、今後の公開活用等について所有者との協議が必要である。																		
				改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了					

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園公有化推進事業					担当課		生涯学習課		(3) 指標の推移												
							担当G		文化財管理G		活動指標 (実施状況)		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度				
							予算科目		会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画体系					5		<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち					ア		志布志麓庭園を構成する庭園のうち公有化の数	件	3	3	3	3	3	3
(個別目標)		3					文化を守り・育み・つなげるまち		イ		公開活用されている庭園数		件		5	5	5	5	5	5	5		
(施策)		2					伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用		イ		志布志麓庭園3・国登録2		件		5	5	5	5	5	5	5		
(基本目標)		4					魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		対象		志布志麓庭園 平山氏庭園		成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(施策)		5					観光パワーアッププロジェクト		事業期間		年度～ 年度 (年間)		ア		活用による庭園の見学者数 (一般観光客を除く)	人	400	500	500	1,000	1,000	1,000	
													イ										
(1) 総事業費の推移		単位		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		8年度		(4) 評価		所管課による評価					
				(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)									
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金		千円								16,000				有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 公共の財産である歴史遺産を公有化することにより、整備活用を行うことで、市民の文化財保護意識が高まり貴重な歴史遺産の保護につながる。志布志麓庭園は日本遺産の構成要素でもあり、志布志東部地区の歴史のまちづくりにおいて大きな役割を担うべき歴史遺産である。						
		その他特定財源		千円																			
		一般財源		千円				352				4,000											
		事業費計 (A)		千円		0		352		0		20,000		0									
		所要人員 (年間)		人		0.000		1.000		0.000		1.000											
		人件費概算 (B)		千円		0		5,600		0		5,600		0									
(A) + (B)		千円		0		5,952		0		25,600		0											
(2) 事業概要																							
事業目的	国指定名勝「志布志麓庭園」を構成する3庭園(福山氏庭園、平山氏庭園、天水氏庭園)について、保存管理計画に基づき整備の一環として公有化を図る。																						
事業内容	各庭園の不動産鑑定及び庭園の鑑定を実施し、購入額を算定する。土地所有者等の確認を行い、購入に向けて協議を行う。国指定文化財の公有化に係る補助事業を導入する。購入後の登記等を行う。																						
開始経緯	平成19年志布志麓庭園が国指定となり、平成22年度に志布志麓庭園保存管理計画を策定した。貴重な歴史遺産である志布志麓庭園を公有化することで、整備と活用をはかることができる。整備活用により、歴史遺産の保存がはかられ、市民をはじめとした多くの人々に対して公開することで観光客の誘致等に効果がある。																						
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度福山氏庭園公有化 平成31年度(令和元年度)天水氏庭園公有化 令和4年度平山氏庭園土地鑑定評価及び庭園鑑定評価 令和6年度に国補助を導入して平山氏庭園の公有化を計画したが、土地所有権の整理が未了のため、見送った。 																						
成果	<ul style="list-style-type: none"> 国指定名勝「志布志麓庭園」を構成する各庭園の公有化により、歴史遺産の整備と活用を進めることができる。 福山氏庭園の主屋及び庭園の保存修理を実施し、令和6年度に主屋の公開、体験事業等による活用を開始する。 																						
課題	平山氏庭園に現存する建物が老朽化し、一部は倒壊している。安全及び景観のため、早急に公有化を進め対処する必要がある。平山氏庭園は本来、寺院庭園であるため、整備にあたっては寺院跡の調査等を実施し、寺院庭園としての整備を実施する必要がある。																						
		改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了											

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志城跡史跡公園保存整備事業		担当課	生涯学習課			(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度											
				担当G	文化財管理G			活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)											
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	1	1	1	1	1	1										
(個別目標)	計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	委託料			イ																		
(施策)	2	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	国指定史跡 志布志城跡 (内城、松尾城)			成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)										
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる					ア	志布志城跡見学者	人	2,000 2,400	2,500 3,100	3,000 3,900	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000							
(施策)	5	5	観光パワーアッププロジェクト	事業期間	平成15 年度～ 年度 (年間)			イ																		
(1) 総事業費の推移				単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4) 評価					所管課による評価										
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 <p>保存整備を目的に発掘調査を実施することは、志布志城跡の歴史的価値を解明することになる。そのことが、志布志城跡が地域の貴重な文化財であるということの普及・啓発につながり、さらには、志布志城跡が後世へ保存・継承されることにもなる。</p>														
			その他特定財源	千円																						
			一般財源	千円	429	495	491	500	500	500																
			事業費計 (A)	千円	429	495	491	500	500	500																
			所要人員 (年間)	人	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150																
			人件費概算 (B)	千円	840	840	840	840	840	840																
		(A) + (B)	千円	1,269	1,335	1,331	1,340	1,340	1,340																	
(2) 事業概要																										
事業目的	南九州を代表する中世山城である志布志城跡を史跡公園として活用を図る。																									
事業内容	国指定史跡である志布志城跡について、史跡公園として活用を図るための整備を行う事業であるが、一時整備を休止しており、整備を再開するまで維持管理を行う。																									
開始経緯	志布志城跡の保存整備が歴史のまちづくり事業のリーディングプロジェクトとして位置づけられ、本調査の調査成果に基づく史跡公園としての保存整備を行うこととなったため。																									
実施状況	12月から3月の間に、内城跡の雑木伐採等業務委託を実施している。																									
成果	内城跡東側斜面の雑木伐採を3月に実施した。																									
課題	志布志城跡の活用のために史跡整備を実施する予定ではあるが、財政的な事由により維持管理のみ行っている。																									
												<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善		<input type="checkbox"/> 効率化		<input type="checkbox"/> 廃止終了										
												達成度 評価		継続日本100名城に選定されたことにより、日本全国から見学者が訪れるほど注目されており、早急な整備を求める声も聞かれるようになっている。												
												改革 改善案														

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市埋蔵文化財センター企画展示会開催事業		担当課	生涯学習課			(3) 指標の推移																				
				担当G	文化財管理G			活動指標 (実施状況)	単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度													
				予算科目	会計	款	項	目	備考	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)													
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	1	2		ア	企画展開催数	件	2 1	2 2	2 2	2 2	2 2											
(個別目標)	計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	印刷製本費・報酬等					イ																		
(施策)	体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	市民、観光客					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)											
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成25年度～ 年度 (年間)					ア	企画展の年間入館者数	人	1,500 1,308	1,500 2,304	1,500 1,996	1,500	1,500	1,500	1,500									
(施策)	戦略	5	観光パワーアッププロジェクト							イ	総入館者数	人	2,500 3,024	3,000 4,371	3,000 4,887													
(1) 総事業費の推移				単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価																	
					(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価																	
年間 事業費 ター コスト	財源内訳	国県支出金	千円								有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 																
		その他特定財源	千円																									
		一般財源	千円	835	843	868	930	930	930																			
		事業費計 (A)	千円	835	843	868	930	930	930																			
		所要人員 (年間)	人	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700																			
		人件費概算 (B)	千円	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920																			
	(A) + (B)	千円	4,755	4,763	4,788	4,850	4,850	4,850																				
(2) 事業概要												効 率 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 															
事業目的	志布志の文化・歴史遺産に関連した企画展を開催することにより、市民に郷土の歴史や文化財の大切さを理解してもらう。本市の文化・歴史遺産の魅力を市外の入館者に対して発信する。									郷土の文化・歴史遺産と触れ合う機会を創出することで、市民がその理解・認識を深めることができる。市外の入館者に対して、本市の文化・歴史遺産の魅力を発信している。																		
事業内容	市埋蔵文化財センターにおいて企画展を実施する。																		企画展チラシの印刷代や土日祝日管理職員の報酬など、必要最小限の経費で事業実施している。例年「志布志のひな人形展」は、市観光ガイドと連携して行っている。									
開始経緯	平成25年に志布志市埋蔵文化財センターが開館した。企画展を開催することで、郷土の文化・歴史遺産に対する市民の理解・認識を深めることを目的として始まった。																		達成度 評価									
実施状況	令和5年度は7月4日から10月15日に「太陽国体とかごしま国体」を、2月14日から3月10日に「志布志のひな人形展」を開催した。																		<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢・環境の変化 事業期間 									
成果	令和5年度は、4,887人の入館者となった。																		目標年間入館者数を上回っていることから、郷土の文化・歴史遺産に対する市民の理解・認識を深めることができていると考える。市外からの入館者が多く、観光客の増加にも貢献している。									
課題	広報活動をより強化するなどして、市内の入館者の増加に努めたい。															改革改善案 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了												

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		市内遺跡確認調査事業（国庫補助）		担当課	生涯学習課				(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度																						
				担当G	文化財管理G				活動指標（実施状況）		（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）																						
				予算科目	会計	款	項	目	備考	単位	（実績）	（実績）	（実績）	（実績）	（実績）	（実績）																						
まちづくりプラン （基本目標）	振興 計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 統・文化のまち	予算科目	1	10	1	2		ア	発掘調査作業員延べ人数	人			32	32	90	0																				
（個別目標）	3	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	1	10	4	6		イ	整理作業員延べ人数	人			180	240	180	180																				
（施策）	2	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活 用	対象	埋蔵文化財（遺跡）						成果指標（成果・効果）	単位	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）																				
（基本目標）	4	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	令和5 年度～ 令和8 年度（ 4 年間）						ア	調査成果が公表された遺 跡数	件	（実績）	（実績）	（実績）	（実績）	（実績）	（実績）																			
（施策）	5	5	観光パワーアッププロジェクト							イ																												
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価		所管課による評価																											
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)																														
年間 トータル コスト	事業費	千円			1,002	1,610	1,310	2,085	有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 																												
	財源内訳	千円																																				
	国庫支出金	千円																																				
	その他特定財源	千円																																				
	一般財源	千円			1,028	2,093	1,310	2,085																														
	事業費計 (A)	千円	0	0	2,030	3,703	2,620	4,170																														
人件費	千円							効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 																													
所要人員 (年間)	人			1,000	1,175	1,425	1,425																															
人件費概算 (B)	千円	0	0	5,600	6,580	7,980	7,980																															
(A) + (B)	千円	0	0	7,630	10,283	10,600	12,150																															
(2) 事業概要																																						
事業目的	ほ場整備に伴い、平成26・28年度・令和元年度に国庫補助による確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書を刊行して、調査成果を公表する。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏庭園（福山氏邸）と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査を行い、整備事業に役立てるとともに、調査報告書を刊行して調査成果を公表する。														<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 																							
事業内容	確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡から見つかった遺物等の整理作業を実施して、調査報告書を刊行する。福山氏邸と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査を実施し、整理作業を行って、調査報告書を刊行する。								<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助事業を活用して、市の財政負担を軽減している。 																													
開始経緯	ほ場整備事業に伴い前畑遺跡ほか8遺跡について、遺跡の有無や範囲・性格等の把握を行い関係機関との協議・調整のための情報を得るための確認調査を実施した。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏邸は増改築の有無等を、平山氏庭園（石峯寺跡）は寺院関係の遺構・遺物の有無等を確認する目的で確認調査を行うことになった。																				<ul style="list-style-type: none"> 前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書は令和6年度末に刊行する。福山氏邸と平山氏庭園（石峯寺跡）の調査報告書は令和8年度末に刊行する。 																	
実施状況	前畑遺跡ほか8遺跡出土石器の実測図等作成業務委託を4～8月に実施し、9～11月に整理作業を実施した。福山氏邸と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査は、1月中旬～2月上旬に実施した。																										<ul style="list-style-type: none"> 現状維持 改善 効率化 廃止終了 											
成果	前畑遺跡ほか8遺跡は、令和6年度の調査報告書刊行に向けて出土遺物の注記・分類・実測図作成が終了した。平山氏庭園（石峯寺跡）では、寺院建物の基礎工事の痕跡と思われるものが確認できた。																																<ul style="list-style-type: none"> 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 					
課題	特に課題はない。																																					